



〈6〉

られる方の切なる願いで
す」

糖尿病などが原因で人生
の途中で視力を失う人は多
い。「ビジネスのベテラン
が失明して離職するのは本
当にもつたいない。40代の方
が、この技術を知ってい
れば仕事を辞めなくてよか
ったのになあ、とおっしゃ
います」

北神明さんが代表を務めるN
PO法人「SPAN」のホー
ムページ



視覚障害者のためのパソコン遠隔講座の準備をする北神
明さん―東京都港区のNPO法人「SPAN」事務所

「パソコンを使えるよう
になると世界が変わりま
す」。視覚障害者のIT学
習を支援するNPO法人S
PAN（東京都港区）の理
事長北神明さん（62）の言
葉を聞くと胸が熱くなる。
北神さんは40歳で視力を失
ったが、パソコンのおかげ

での指導者養成や支援講座
の開催に取り組んでいる。
音声読み上げソフトを使
えば、パソコンや携帯電話
が「目」となつて、文字を

視覚障害者にパソコンを

指導者養成に取り組むNPO

で再就職ができた。

北神さんは定年を迎え、
これまで12年間取り組んで
きた「SPAN」での視覚
障害者向けパソコン教室の
活動を拡充させ、全国規模

音声に変えてくれる。「そ
れまでは、誰かに頼まない
と新聞も手紙も読めなかつ
たのですから。もう一度、
新聞を読みたい、辞書を使
いたい、私たちの講座に来

北神さんが最も熱心に取
り組んでいるのが「視覚障
害者のためのパソコン遠隔
講座」だ。講師と生徒のパ
ソコンで同じ画面が共有で
きる技術「リモートアシス
タンス」やインターネット
無料電話の普及で、遠隔地
での在宅学習は格段にやり

やすくなっている。
「中途の視覚障害者は外
出すら難しい。しかし、読
み上げソフトを使えるよう
になれば仕事を失うことは
ないのです。92歳から始め
た方も使えるようになりま
したよ」

北神さんのメールにはい
つも感激してしまつ。優し
い温かい言葉遣い。分かり
やすく、簡潔な文章には誤
字が一つもない。「高齢に
なると点字の習得が困難で
すから、パソコンで情報を
事務局長・近藤則子

